

NPO法人 自立生活センター STEPえどがわ 会報

STEPっ子パラダイス all for ワ ダフォー!!

えぬぴーおーほうじん
じりつせいかつせんたー
すてっぷえどがわ
かいほう
すてっこぱらだいす
おーるふおあわんだふおー

ねん がつごう
2018年4月号



今年は暖かったのか、これまでにないくらい早く桜が開花しました。
東京ではなんと3月17日に開花しちゃいました。去年は3月26日だっ
たということなので、昨年より9日も早い開花です。その後雪の降っ
た寒い日もありましたが、3月24日には満開に！これも観測史上3
位の早さだそうです。

この原稿を書いているまさに今が、陽気もちょうど良く見ごろなの
よね。STEP恒例イベントである今年のお花見は4月7日。あと2
週間もあります。ああ…お花見にはならないなあ。

ということでお花見の会場とは違いますが、篠崎の水門横に咲いてい
る桜を撮ってきました。このときは7分咲き位でした。



目次

も く じ



しんねんど あいさつ 新年度のご挨拶	2
えーでいーえー ADA27ツアーにいらっしゃいました！	3
しゅうちゅうこうざかいさいほうこく ピア・カウンセリング集中講座開催報告	5
じ る ぜんこく いん はかた い JIL全国セミナー in 博多に行ってきたばい！	7
ついで しんじゆく つ くうこう どうにゆう 遂に！バスタ新宿にリフト付き空港バスが導入されました！！	9
くりすます ぱーていー かいさいほうこく Xmas Party 2017開催報告	10
とえいこうつうみずええき おおみそか こうしょう 都営交通瑞江駅 大晦日のエレベーター交渉	11
ちゅうがくせい チャレンジ・ザ・ドリーム～中学生がやってきた！～	12
だい き しょうがいとじしゃ ようせいけんしゅうほうこく 第11期バリアフリー障害当事者リーダー養成研修報告	17
すずね であ ブルースとサラが鈴音に出会ったア～～～	19
にゅういんちゅう じゅうどほうもんかいご くぶん りよう かのう 入院中でも重度訪問介護（区分6）の利用が可能になります！	20
すずね しゆわ 鈴音の手話コラム	22
ふ え い す ぶ つ く Facebookはじめました。	23
かつどうほうこく 活動報告	24
かいいんぼしゅう 会員募集	26

いんねんど かいさつ 新年度の挨拶

りじちよう いまむら のぼる
理事長 今村 登

ぎゆう めい と あすで きょう
座右の銘は？と問われて、「明日出来ることは今日
するな！」とドヤ顔で答えてきた私は、有言実行とば
かりに、「新年（2018年）の理事長挨拶を書け！」と
の命を受けてからあつという間に年を越し早数ヶ月。
あら かいほう へんしゅうちよう つ しんじん
新たに会報の編集長に就かれた新人のトッシー
（工藤登志子）は仕方なく「新年度の挨拶でいいから」
と困惑顔。そして現在原稿の取り立てに私の尻を叩
くのは、入社1年目のスズネ（田中鈴音）。難聴者で
ある彼女は、頸損（指が動かさない）の私らにもお
構い無しで手話をやれとスパルタ手話教師にしばし



ば変貌して、事務所を笑いに包む。天真爛漫でわが道を行く彼女には、さして悩みも
なさそうに見えていたが、実は悩みも抱えていて、それを同じく新人で一番手話の覚
えが早いなっちゃん（曾田夏記）が聞き役をし、先輩の蛭姐さん（ひるかわりょうこ）が全体
を絞める（いや、束ねるか）。というSTEPえどがわの誇る女性当事者スタッフ陣。

そうなんです！創立15周年となった昨年は、3名の女性当事者スタッフが
STEPえどがわに来てくれて、当事者スタッフの男女比が4：4とジェンダーバラ
ンスもばっちり。夢と希望に満ち溢れたリバイバル&リスタートプラン（R & R プ
ラン）のスタートを切った年でした。ただ、頭数は4：4でも、男女のパワーバラ
ンスは1：9。これは代表が極度の恐妻家である為、なるべくしてなったのかもしれない
ことはご愛嬌で。

さて、16年目を迎える2018年度は、そんなジェンダーとパワーの心地良い？アン
バランスをSTEPえどがわの新たなストレンクス（強み）に変えられるよう、R
& Rプランの手直しをして、皆で力を合わせて問題・課題の解決に臨み、地域や
他分野の人たちを巻き込み繋がりがあって、魅力溢れるILセンターにしていきたいと
おもいます。

ほんねんど ねが もう あ
本年度もよろしく願い申し上げます。



そだ なつき
曾田 夏記

さくか がつげじゆん やく しゅうかん くどう そだ けんしゅう い
昨夏、7月下旬から約2週間、工藤&曾田はアメリカに研修に行ってきました。
えーでいーえー リーど おん ゆーす ぶろじえくと だい
「ADA 27 Lead on! Youth Project」と題されたこの
せかい はじ しょうがいしゃさべつきんしほう えーでいーえー ぜんこく
ツアーは、世界で初めてできた障害者差別禁止法（ADA）のあるアメリカに全国
わかつてしょうがいしゃ けんしゅう い しょうがいしやうんどう たいかん
の若手障害者で研修に行き、アメリカの障害者運動を体感してこよう！というもの
でした。

ほん おも もくてき なかま うら
本ツアーの主な目的は、「ほんまもの仲間になるんや！」という裏スローガン
ぜんこくかくち わかつてしょうがいしゃ あつ さんかしゃぼしゅう しきんあつ ほうこく ふく
のとおり、全国各地の若手障害者が集まり、参加者募集、資金集め、報告まで含
わかつてしょうがいしゃ つう なかま
め、すべて若手障害者でやりきること—そのプロセスを通じ、「仲間」になること
もくてき
を目的にしていました。

かいしとうじ まいつきかいさい かいぎ つや
プロジェクト開始当時、毎月開催するスカイプ会議は、まるで「お通夜」のよう…。
い おも だいじょうぶ
「これを言ったらみんなどう思うのかな」「こんなこと言って大丈夫かな」。みんな
はつけん おそ ちんもく じかん ほう おお おもくる くうき つづ
が発言することを恐れ、沈黙の時間の方が多い、そんな重苦しい空気が続きました。
しょき かいさい たいわんじぜんがつしゆく ひとこと たび
初期に開催した台湾事前合宿は、一言でいえば、「バラバラ」…。その度にみんな
はな あ たが おも うご いしき
で話し合い、もっとお互いを思いやっけて動こう、とそれぞれが意識することで、
わたしたちは少しずつとってもよいチームになっていったように思います。

しきんあつ ていー う すてっぷ たいへん せわ
資金集めのためのTシャツ売りでは、STEPのみなさんにも大変お世話になり
ました。わたし いそが なかて お まい ていー
トッシーと私も、みんなが忙しい中手折りしてくれた300枚のノルマTシャ
ツを売りに、行ったことがない企業や団体にも飛び込み営業に行きました。こうやっ
て、すてっぷ かつどう わたし しょうがいとうじしや かつどう おうえん ひと つく
て、STEPの活動、私たち障害当事者の活動を応援してくれる人を作っていくの
たいせつ じっかん
は大切なことだと実感しました。

わたし たいざいちゆう いちばんごころ のこ じりつせいかつうんどう はは よ
私がアメリカ滞在中に一番心に残ったことは、「自立生活運動の母」とも呼ばれる、
ゆうめい すがた ゆうめい かた にほん
有名なジュディ・ヒューマンさんの姿でした。とても有名な方だけれども、日本か
ら来た幹部（今村さんのような！）だけではなく、わたしたち若手ひとりひとりに
せつきよくてき はな じかん さ じかん さ
積極的に話しかけ、時間を割いてくれました。ただ時間を割いてくれるのではなく、
ひとり しょうがい なかま ふか あいじょう し
そこには一人ひとりの障害のある仲間への深い愛情、「あなたのこともっと知りたい
きも まいにちであ ひょうじょう た
い」という気持ちがありました。それは、毎日出会うジュディの表情、ことは、立

ち居振る舞いからすぐにわかるものでした。ジュディのほかに、今年(ことし)は世界中(せかいじゅう)から
あつ 集まった(すてき)素敵な(じりつせいかつ)自立生活センターの仲間たち(なかま)に出会い、私(わたし)たちはひとこと(い)で言えば、
とても「エンパワメント」(おも)された(おも)と思います。

“Together, we have overcome. Together, we shall overcome. I love you all. Lead on!”

「わたしたちは、みんなで(の)乗り越えて(こ)きました。わたしたちは、これからはみんな(の)で乗り越える(こ)でしょう。あなたたち(みな)皆(みな)のことを(あい)愛しています。リード・オン！」

これは、A D Aの成立(せいりつ)に尽力(じんりょく)した(えーでいーえー)ジャスティン・ダート(せいりつ)さんの(ことば)言葉(ことば)です。わたしも、
ぜんこく 全国の(なかま)仲間(なかま)、えどがわの(なかま)仲間(なかま)たち(なかま)とともに、愛情(あいじょう)を(ひび)もって、日々(ひび)の(かつどう)活動(かつどう)を(すす)進めてい
きたい(おも)な(おも)と思います。



2017
しゅうちゅう こうざ
ピア・カウンセリング集中講座 かいさいほうこく 開催報告

ひるかわ りょうこ
蛭川 涼子

2017 年度も集中講座を開催できました。11月14～16日、戸山サンライズ。リーダーは「自立生活センターくれぱす」の見形信子さんでしたが、前日に風邪を引いてしまって、急ぎよ「くれぱす」の上野美佐穂さんが1日目のリーダーを代打、二日目は無事見形さんが復活するというハプニングがありました。ともあれ、参加してくれた人、会場の準備をしてくれたオーガナイザーに感謝感謝です。サブリーダーとして2年目の今年は色々と考えさせられた講座でした。



○どうして講座を開くのか。伝えたいこと。

講座を受けたことがある人は耳にタコかもしれませんが、自立生活センターの言うピア・カウンセリングは「感情を出し合う（聴き合う）」カウンセリングです。あくまでも自分のために行います。そこが専門家に聞いてもらう心理カウンセリングとは違うところ。

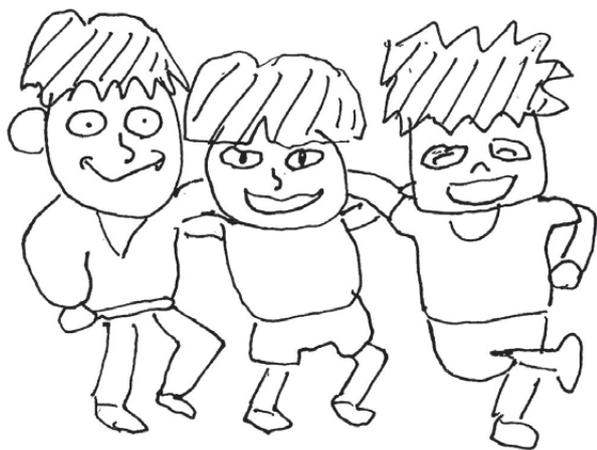
…ただ、感情を出すといっても難しいですね。私もそう思っていました。その難しそうに見える感情の解放をどこまで実感してもらえるかが、入門編である集中講座の目的でもあります。どんなふうに伝えたら、いいかなあ…。リーダーのみかちゃんと話していたのは、私達はどうして、どうやって感情を解放するか。自分が疲れて、傷ついている時ほどセッションは効果がある。そのことを伝えられたらいいなと。

(そう、私達はそんなことを思っていたのだ)

○感情が出せる場の空気？

今年は、STEPに定期的に相談に来てくれる人、以前から知っている人、初めて会う人など、メンバーの背景はいろいろでした。

ピア



自分の気持ちと素直に向き合う、自分の
中の本当の感情に気づいてあげるには、場
の空気はとても重要です。安心できる空気
でないと、うわべだけになるのは当たり前
というもの。感情を出してもらうには、場
の空気の作り方がとっても大事…なんで
すが。

今年はそれが難しく、何か今までと違う
感じでした。理由は色々思い当たるので、
参加してくれた人々には本当に申し訳な
かったと思います。もっともっとセッション
する時間があったらよかったな。そうし

たらきっと感情にたどりつけたかもしれないな。

2018年度は、集中講座を実施するかどうかは未定です。これまで参加してくれた
人々との継続クラスをやりたいです。お試しの体験講座も考えています。ピア・カ
ウンセリングに関心のある人、誰かに話しを聞いてほしい人は、STEPまでお越し
くださいな。



じる ぜんこく *JIL* 全国セミナー *いん* 博多 *はかた* に行ってきたばい!

そだ なつき
曾田 夏記

さくねん がつ にち はつか いまむら すずね
昨年12月18日～20日、今村さん、鈴音ちゃん、
そだ めい まいとしようれい じる ぜんこくじりつせいかつ
曾田の3名で、毎年恒例のJIL（全国自立生活
センター協議会）全国セミナーへ行ってきました。



ぜんこくたいかい
全国大会のテーマは、1日目「知的障害者の
しえん ふつかめ かくさいきょうりよく みつかめ じよせい せい
支援」、2日目「国際協力」、3日目「女性」「性」

わたし いちばんこころ のこ にちめ ちてきしようがいしゃ ひとりぐ
でした。私が一番心に残ったのは1日目です。知的障害者の一人暮らしと、それを

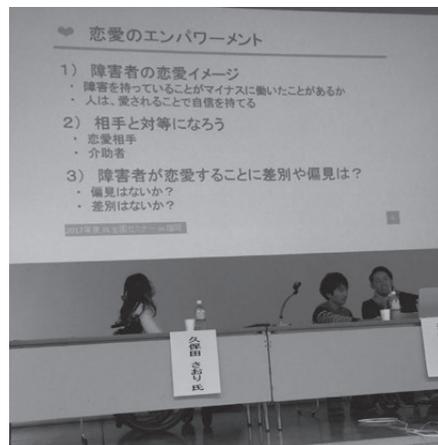


しえん じりつせいかつ しーあいえる かいじよしゃ
支援する自立生活センター（CIL）の介助者た
ちを追った映画の試作版を見たあと、実際に支援
をする各地のCILスタッフから話を聞きました。
にしとうきやうし ちてきしようがいしゃ しえん ながねんつづ
た。西東京市で知的障害者の支援を長年続けてき
た益留さんが、「これまで僕たち身体の世界で言わ
れてきた、『自己決定、自己選択、自己責任』や、

ちてき はつびやう
↑知的プロジェクトの発表 『当事者による指示出し』にこだわりすぎる必要は
ないのではないか。同じ空間に『共にいる』ことの価値を見つめた支援の仕方があつ
ていい」という趣旨の問いかけをされていたのが、
すずね く れんあいこうぞ
↓鈴音が食いついた恋愛講座

いんしやうてき
印象的でした。

わたし はは ねんまえ のうしゆつけつ たお あと にんしき きおく
私の母も、14年前に脳出血で倒れた後、認識や記憶
におも しょうがい はは おも う
に重い障害があります。母のことを思い浮かべると、
しんたい なかま じりつ じじだ じぶん
身体の仲間がやっているような「指示出し」や、自分
の「意思」を伝えることは難しいなと思います。でも、
はは いし つた むずか おも
母なりの意思があり、表現方法があることは、「共にい
る」中で理解してきたことです。「お母さんにとって
の『自立』ってなんだろう・・・？お母さんが望んでい
る暮らしって、どうやって確認して、どうやって実現していけるんだろう・・・？」
さくねん ねん かぞく どう かいご げんかい き しせつ はい しまね はは
昨年、14年にわたる家族（父ちゃん）介護に限界が来て、施設に入った島根の母。



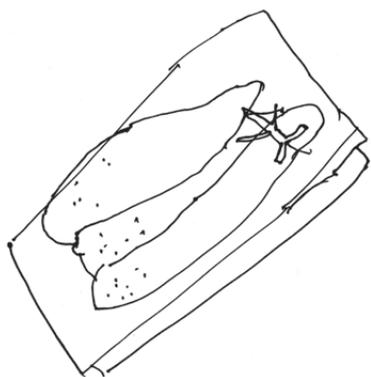
母のことを思い出しつつ、自立生活センターのスタッフとして、いろいろな人の、ひとりひとりにとっての「自立生活」について真剣に考えて、活動していきたいなと思いました。

最初、STEPの当事者ミーティングで「全国セミナー行きたい人〜?」と聞かれ、(どうしようかな〜)と、実はやや後ろ向きに考えていた私。でも、参加すれば全国で頑張っているCILの仲間たちと再会できた



り、一緒に行った
 ↑全国の仲間たちとの交流♪
 STEPの仲間たちと旅先の思い出ができたり、実り多い2泊3日でした。ちなみに、私は鈴音と一緒に泊まったのですが、「なっちゃん、ベッドは絶対ダブルにしてよ!(°∩°)」と謎のリクエストを受け、二人で仲良く一夜を共にしました。

またSTEPのみんなと研修にいけたらなーとおもいます!



↑ 明太子

↓ 鹿児島のイケメンと交流する鈴音♡



↓ 今村さんと博多の街を爆走♪



↓ 加瀬君作



ついに!! バスタ新宿に、リフト付き空港バスが導入されました!!

くどう としこ
工藤 登志子



2017年12月21日より、国内最大級のバスターミナル「バスタ新宿」と羽田空港（国際線ターミナル）を往復するリフト付き高速バスの運行が開始されました。リフト付きバスとは、車いす使用者が車いすに乗ったままで乗車出来るように昇降リフトが付いているタイプのバスのこと

です。車内の車いす席は椅子席（左右ともに2席×2列分）をスライドさせてフリースペースを作り、ベルトで固定します。車いすは同時に2台まで乗車可能です。

実際に試乗してきた私の感想は、「6輪の大型電動車いすでも足元が広い！窓の視界も良好！」でした。リフトの出し入れやベルトの固定等、乗車準備に10分程かかったのが気になりましたが、スタッフが慣れればもう少し素早く乗れそうです。

これまでリフト付き高速バスは低床の路線バスに比べるとコスト面等の問題からなかなか普及が進んでいませんでした。そのため、車いす使用者が空港や主要ターミナル駅へ行きたい時は電車を何本も乗り継いだり、高額な料金を払ってタクシーを利用するといった方法しかなく、時間的にも金銭的にも大きな負担となっていました。しかし、今回リフト付き空港バスが導入された事によって、よりシンプルな経路で手軽にアクセス可能となりました。都心の複雑な電車の路線を乗り継がずに済むのは海外や地方からやって来た観光客にとっても大きなメリットです。何よりも、車いす使用者も他者と同じように様々な選択肢の中から自由に選べるようになったことが大きな進歩です。

今現在、バスタ新宿発着のリフト付き空港バスは一日2往復とまだまだ少ないですが、今後利用者の増加に伴って増やしていく予定だそうです。今後は国際線ターミナルだけでなく国内線も、また、空港だけでなく地方の観光地等、様々な場所でもリフト付き高速バスが広がって行くといいなと思います。車いすユーザーのみなさん、どんどんリフト付きバスに乗ってたくさんお出かけしましょ～！



くりすます ぱーてぃー Xmas Party 2017

まいとしこうれい かいさいほうこく
 毎年恒例のクリスマスパーティー開催報告

なかそね ともあき
 中曽根 知明

2017年12月24日のクリスマスイブの日に、毎年恒例のクリスマスパーティーを
 とうぶくみんかん ちこどもあわせて そうぜい にんじょう かた さんか かいさい
 東部区民館にて子ども合わせて総勢80人以上の方が参加され開催されました。

イブの日ということもあり各自の用意で人数が少ないと思心配でしたが、多くの
 かた じゅんび だんかい つく かいじょうせつえい おこな いただ じょう
 方が準備の段階からケーキ作りや会場設営を行って頂いたり、ステージ上ではピア
 ノの弾き語りや子供たちのダンス、そして豪華賞品！？が当たるビンゴ大会など楽
 しい時間を過ごすことができました。

また以前ステップの要望で東部区民館では車椅子でもステージに上られるように
 しょうこうき どうにゆう いただ こんかい しょうこうき
 昇降機を導入して頂きましたが、今回その昇降機がバージョンアップ！！され、
 おおがた くるまいす たくの できる ように かいりょう
 大型の車椅子でも楽に乗ることが出来るように改良されました。小さな事かもしれ
 ませんが、いつでも誰でもどんな時でも利用できる、そんな社会が少しでも実現し
 ていければ！！と思いました。(小さなことからコツコツと！！)

今年も様々なイベントを開催する予定です！！ホームページにてお知らせを行いま
 すので是非ともご参加ください。



↑みづらいかもしれませんが、
 かいりょう しょうこうき
 改良された昇降機です
 こわ つち
 ←壊れかけの土〇さん！！



大晦日のエレベーター交渉

工藤 登志子

昨年、いつもSTEPえどがわを利用してくださっている方から下記のような内容の相談メールが届きました。

“大晦日に新宿線が24時間運行するので深夜に出かけたい。でも瑞江駅のエレベーター（以下EV）は1～4時の間止まってしまう。EVを動かしてもらえるようにSTEPのみんなにも協力して欲しい。”



確認してみると、新宿線の24時間運行を決めたのは東京都交通局ですが、瑞江駅に直結しているEVは地下駐輪場を管理している江戸川区の管轄でした。そのため、江戸川区は地下駐輪場の運営時間に合わせて1～4時の間はEVの運行を休止すると決めていたのです。

東京都交通局は代替案としてキャタピラと呼ばれる機械を使って車いす使用者を階段で運ぶとしていましたが、キャタピラは乗車準備や階段の移動に非常に時間がかかる上、安全面でも不安がありました。

また、キャタピラを使うためにはいちいち連絡しなくてはならず、手間がかかります。車いす使用者だけが多くのリスクと制限を受けなければならないのは誰もが利用する公共交通機関としての役割を果たしているとは言えません。

そこで私たちは東京都交通局と江戸川区に電話をし、EVを動かしてもらえるように要望しました。初めはどちらも無理という回答しかもらえませんでした。数回にわたって交渉を続けたところ、最終的にはEVを24時間運行してもらえることになりました！年末の忙しい時期にも関わらず、迅速に調整して頂き、運行を決めてくださった東京都交通局と江戸川区には感謝の気持ちでいっぱいです。

後日の報告によると、大晦日の1～4時の間にEVを利用された方は車いす使用者7名、その他83名だったそうです。このことから、「バリアフリー」とは障害者だけのためのものではないと強く実感しました。そして当事者が声を上げていくことで社会が変わるということもわかりました。これからは私たちが“全ての人にとって”暮らしやすい街づくりを目指して活動していきたいと思えます。

チャレンジ・ザ・ドリーム



ようこそ STEPえどがわへ!
ちゅうがくせい が やってきた!

たなか すずね
田中 鈴音

はるちゅう だんし めい みずえさんちゅう じよし めい せいと すてっぷ
春江中から男子3名、瑞江三中から女子5名の生徒がSTEPえどがわへ「チャレンジ・ザ・ドリーム」でやってきました。

チャレンジ・ザ・ドリームとは？

えどがわく おこな ちゅうがくせい しょくばたいけん えどがわく ぜんちゅうがっこう じっし
江戸川区で行われる中学生の職場体験のこと。江戸川区の全中学校で実施されており、2年生が対象になっている。受け入れ事業所に登録している農業、保育園、福祉など区内の様々な業種・職種の事業所のうち、それぞれの生徒が希望するところで体験をするそうです。

みずえさんちゅう せいと ねん がつ にち にち いつかかん
瑞江三中の生徒には2018年1月22日～26日の5日間、
みずえさんちゅう せいと がつ いつか ここか いつかかん さまざま
瑞江三中の生徒には3月5日～9日の5日間にわたり、様々な体験をしてもらいました。自立生活センターが存在する理由や当事者が運動をしていくことの意味、重要性などの話はなしふだんぎょうむ いっしょ おこな
自立生活をしている利用者さんのお家へ見学に行ったり、車いすにのって街を散策してみたり、手話でコミュニケーションをとってみたいり等はじめての経験ばかりだったのでないでしょうか。



ふだん せいかつ とうじしゃ かか すく
普段の生活で当事者と関わることが少ないなか、「チャレンジ・ザ・ドリーム」は私たちのことを知ってもらう良い機会でもあります。

こうとう せつめい ひつよう なに とも おな じかん
口頭で説明することも必要ですが、何より共に同じ時間を過ごすところから感じとってもらうことも大事です。それと共に私たちも、より一層、社会に私たちの活動を伝えていく

ひつよう あらた おも
必要があると改めて思いました。

せいと かんそうぶん か しょうかい
生徒たちに感想文を書いてもらったので紹介します。

みずえさんちゅう
瑞江三中

ふだんは、できない事がたくさんできたので良かったです。ピラ配りは少し大変だったけど、もらってくれる人もいたので、良かったです。また、車イスの体験もできたので良かったです。1日だけでしたが、とてもいい経験になりました。



くろいわ ち さ
黒岩 千沙



ふだん たいけん
普段、体験できないようなことをさせてもらい
ありがとうございました。この体験で学んだこ
とは、この先役に立つと思うので心にとどめて
おきたいです。

さいしょ きんちよう みな
最初はすごく緊張していたけれど、皆さんとてもやさしくフレンドリーだったのでほ
ぐれることができました。5日間という短い間だったけれど本当にありがとうございました。
ました。

なかじま り こ
中島 里恋

さいしょ すこ きんちよう みな やさ たの たいけん で き
最初は、少し緊張したけど皆さん優しく楽しく体験することが出来ました！
ふだん たいけん いろいろべんきよう
普段、体験しないことばかりで車イスに乗ったり障害がある人と関わったり、色々勉強
になりました。5日間という短い間で皆さんと仲良くすることが出来て本当に
良かったです。お忙しい中、私たちを受け入れてくれてありがとうございました！！

まつしま み ゆ
松島 美侑

わたし ふだん しごと きちよう けいけん
私たちは普段このようなお仕事をしなかったことがないので、とても貴重な経験になりました。
なにげ じっさい くるま かた べんり
た。何気なくみているスロープは車イスの方にとってとても便利なものだということ
が分かりました。実際に車イスに乗っ
たりおしたり、障害を持っている方の
お話を聞いたり5日間でたくさんのこと
を学びました。お忙しいなか貴重な
経験をさせていただきありがとうございました。



こぬき まりの
小貫 毬乃

初日はすごく緊張しましたがみなさんととてもフレンドリーで少し大変だったけれどとても楽しい職場体験でした。
私としては利用者さんのお宅に行き、夢についてや大変なことについて話したりと、とても良い経験でした。5日間の短い間でしたがありがとうございました。



ふじうら ななみ
藤浦 七海

はるえちゆう 春江中

ぼくは、2月5日から2月9日までSTEPえどがわで職場体験をしました。最初は、しっかりと出来るか心配でした。最初の仕事は、開所準備でした。開所準備でやったことはSTEPえどがわの本部の掃除です。次にしたことは会社説明を聞きました。次に車いすの正しい使い方を学びました。
次にSTEPえどがわの職員の人たちとご飯を食べました。本当は次に理事長さんからお話があるはずだったけど理事長さんが帰ってしまいはなしがきけませんでした。
2日目は、ガイドヘルプ体験で車いすの人の気持ちを体験しました。ガイドヘルプ体験で船堀のタワーホールに行きました。車いすに乗って楽しかったです。ご飯の時には食事介助体験をしました。ちょっと食べづらかったです。ご飯を食べた後はバリアフリーチェックのオリエンテーションをして2日目が終わりました。
3日目は障害当事者スタッフの話の話を聞きました。手話で話してわかったことは、手話は難しいと思いました。
4日目は、バリアフリーチェックのために車いすに乗って、ケンタッキーに行きました。段差が高いからケンタッキーに入るのが大変でした。
5日目はバザーの準備をしました。STEPえどがわさんに来て車いすの人たちへの見方



このたびはこの貴重な体験をさせていただき
 ありがとうございます。このチャレンジザ
 ドリーム感想でたくさんの方を学びまし
 ました。その中でもとくにここにのこったのは
 くるまいすたいけん
 車椅子体験です。



行きは車椅子を押して行きました。そのとき
 は段差などが大変でとても疲れました。

外に出ると信号や道路がたくさんあって大変でした。船堀タワーの中に入るとさまざま
 なバリアフリーの工夫がされていました。

帰りは押ししてもらいました。そのときは道がガタガタしていて振動が乗っている側に
 伝わってきました。いつも歩いている道が車椅子に乗るとこんなに怖いとはおもいま
 せんでした。また、段差やエレベーターもこんなに大変だとは思っていませんでした。

今回の貴重な体験を通してヘルパーさんの大変さややりがい、障害を持つ方の日々の
 暮らしを学ぶことができました。



この五日間の体験を通して
 新しく学んだことがたくさ
 ん増えました。ここで学ん
 だことを将来生かしたいと
 思います。五日間の中でた
 くさんの貴重な体験ができ
 て本当によかったと思いま
 す。事業所の皆様 本当
 ありがとうございます。

ひるた しゅんぺい
 昼田 隼平

福祉機器・介護用品・住宅改造のお問合わせは
 お気軽に当店まで！ 自社工場完備で修理・改造がすぐ！

— 福祉機器のトータルプランナー —

有限会社 パムック



江戸川区南篠崎町 2-16-2 第2相栄ビル3F
 (レンタル車いす・車いす保険も取扱っております)

TEL03(5666)4801 | FAX03(5666)4802

だい 第11期

しょうがい どう じ しゃ しょうがい どう じ しゃ よう せい けん しゅう ほう こく バリアフリー-障害当事者リーダー養成研修報告



く どう と し こ
工藤登志子



ねん ど かい さい だい 第11期
2017年度に開催された「第11期バリア
フリー-障害当事者リーダー養成研修」に
す て っ ぶ つ ち や な か そ ね く どう
STEPえどがわの土屋、中曽根、工藤が
じ む き よ く さ ん か い た だ
事務局として参加させて頂きました。この
けん しゅう にん て い え ぬ ぴー おー ほう じん で いー ぴー あ い ひ ほん か い ぎ
研修は認定NPO法人DPI日本会議が
し ゅ さい し ょ う がい と う じ しゃ た い し ょ う こ う つ う
主催し、障害当事者を対象に交通バリアフ

りや接遇に関する知識、障害の社会モデルの考え方を身に付け、今後リーダーとして活躍できる人材を育成することを目的としています。

こ ん ね ん ど ねん とう き ぎ ゃう せい けん しゅう ほう こく
今年度は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えて今後ますます必要になってくる障害の社会モデルに重点を置いた内容となっており、「障害とは何か」、「障害はどこにあるか」について気づきを得る議論が多く盛り込まれていました。

じ む き よ く じ ゅ ん び か か わ た し かん し ょ う がい し ゃ ひ と こ と い
事務局として準備に関わった私を感じたことは、「障害者」と一言で言っても、こま 困っていることやその解決方法は一人ひとり違う、ということです。たとえば、くるまいす ユーザーは歩けないけれど、見たり聞いたりすることは出来ます。そして視覚障害者 は歩けるけれど、見る事が出来ません。また、同じ聴覚障害者でも、手話を主なコミュニケーション手段としている人もいれば、手話よりも文字通訳の方が良いという人もいて、本当に多様な人がいるんだと改めて実感しました。そのため、特に情報保障については始めはどうしたら良いのか悩んでしまいましたが、受講者一人ひとりと直接

やりとりをして本人のやり方を聞いたことで、その人に合った配慮をすることが出来ました。

こ ん かい かつ どう けい けん
今回の活動経験を、こ ん こ 今後のSTEPえどがわでの活動にも活かして行きたいと思ひます。



シフト表の
作成って
もうイヤ!



月額
800円
から

ヘルパーアシスト ならできる。

利用者在: 小林 達樹 - 男性 - 利用種別: ヘルパー名

担当名: 全

利用種別: ヘルパー月間

2010年 9月

合計時間数: [149 時間]

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			身19:00-24:00 藤口	身08:00-10:00 北田 身10:00-11:00 小川 身11:00-14:00 中田		身07:30-12:00 香川
5	6	7	8	9	10	11
身07:00-13:00 白井 身15:00-18:00 樋口	身10:00-14:00 天野	身15:00-18:00 樋口 身21:00-24:00 藤口	身19:00-24:00 藤口	身08:00-10:00 北田 身10:00-11:00 小川 身11:00-14:00 中田		身07:30-12:00 香川
12	13	14	15	16	17	18
身07:00-13:00 白井 身15:00-18:00 樋口	身10:00-14:00 天野	身15:00-18:00 樋口 身21:00-24:00 藤口				
19	20	21				
身07:00-13:00 白井 身15:00-18:00 樋口	20-敬老の日 身10:00-14:00 天野	身15:00-18:00 樋口 身21:00-24:00 藤口				
26	27	28				
身07:00-13:00 白井 身15:00-18:00 樋口	身10:00-14:00 天野	身15:00-18:00 樋口 身21:00-24:00 藤口				

身体介護 家事援助 通院介護 全身移動 (身体部分) (全身部分) 介護体操 自費 他1

112/1200 10/300 0/0 27/250 0 0 0

2010年 9月

担当名: 全

性別表示: 全

ヘルパー月間 利用者別 ヘルパー別

印刷画面へ 19日(日) 月間シフト表

時分	00	02	04	06	08	10	12	14	16	18	20	22	24
00													
02													
04													
06													
08													
10													
12													
14													
16													
18													
20													
22													
24													

<http://www.helper-soft.net>



開発・販売元
有限会社ミツココミュニケーションズ
 〒133-0065
 東京都江戸川区瑞江2-6-11 プレステージ瑞江303
 電話 03-5636-6027 FAX 03-5636-6024

BruceとSarahが鈴音に 出会ったア〜〜。



そだ なつき
曾田 夏記



3/12～3/25までの約2週間、日米の自立生活センターの連携を深めるため、NCIL（全米自立生活センター協議会）代表のブルースさん、副代表のサラさんが来日しました。ブルースさん（内部障害）はニューヨーク州ロチェスターにある自立生活センターの代表、サラさん（精神障害）はバーモント自立生活センターの事務局長でもあります。



ブルースさんがいるロチェスターは、「聴覚障害者のメッカ」と呼ばれており、人口に占める聴覚障害者の割合が全米No.1！ブルースさんのセンターでは、9名の理事のうち3名が聴覚障害者で、手話通訳の



派遣サービスなども行っているそう。来日中、ブルースさんの通訳として同行していた私が、「ウチのスズネ」のことを話したところ、「スズネ、会いたい！」とのことで、3/24のお花見観光の時にスズネを紹介しました。

（なっちゃん）ねーねー、スズネ、ブルースさんにあってみてどうだったー？

（スズネ）沖縄料理おいしかたね！

（なっちゃん）質問にこたえなさいよ、コラッ！

（スズネ）ブルースさんはお茶目なオジサンだった！

（なっちゃん）そだねー！ツッチーさんをしのぐお茶目さだったね。



（スズネ）でも、えーとね・・・アメリカの通訳派遣制度のこととか教えてくれてうれしかったよ！一番印象に残っているのは、「聴覚障害者が手話通訳者を連れて行かないといけないのは、当たり前ではない」と言っていたことかな。

（なっちゃん）すずねが手話通訳派遣の時間数が144時間上限っていったら、ビックリしてたもんね。手話通訳者を用意するのは、大学や病院の責任で、聴覚障害者が探して連れて行かなくていいっていったね。

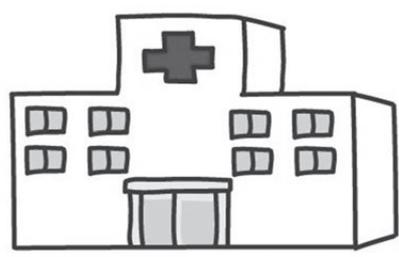
（スズネ）日本でも、どこにいても手話通訳者がいて、自由に情報を得られる環境になってほしいなとおもいました♪

にゅういんちゆう じゅうとほうもんかいご くぶん
入院中でも重度訪問介護(区分6)の
 りようかのう
利用が可能になります！

2018年
4月から

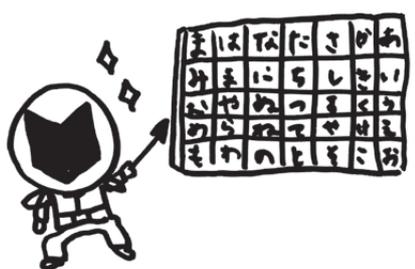
いまむら のぼる
今村 登

ねんまえ せいりつ しょうがいしゃそうごうしえんほうかいせい
 2年前に成立した障害者総合支援法改正で、
 じゅうとほうもんかいご い か じゅうほう りようばしょ
 重度訪問介護サービス（以下：重訪）の利用場所
 たいしょうかくだい びやういん しんりょうじよ かいご ろうじん ほけん しせつ
 の対象拡大（病院、診療所、介護老人保健施設、
 かいごいりよういんおよ じよさんじよ き たび
 介護医療院及び助産所）が決まっていたましたが、この度
 ぐたいてきうんようないよう けつてい ことし ねん がつ
 その具体的運用内容が決定され、今年（2018年）4月1
 にち せいしき つか
 日から正式に使えるようになります。



ぐたいてき かき とお たいしょうしゃ しょうがいしえんくぶん じゅうほうりようしゃ
 具体的には、下記の通り。対象者：「障害支援区分6」の重訪利用者

りようかのう じかんすう 利用可能な時間数	ふだん しきゅうりよう はんいなくん によういん 普段の支給量の範囲内（入院することで新た に支給される訳ではありません）
しえんないよう 支援内容	コミュニケーション支援等 （※この部分の解釈がポイント）
ほうしゅう 報酬	きほんほうしゅうがく どうよう 基本報酬額と同様
りようかのうきかん 利用可能期間	90日（これが絶対的上限ではないが、90日 以降は報酬が20%減算）
かくたんきゅういんなど しえんたいせいかさん な 喀痰吸引等の支援体制加算は無し	



とうきょうと ぜんこく とういつ せいど しえんひせいど
 東京都では全国の統一した制度（支援費制度）ができ
 る2003年までは、「東京都全身性障害者介護人派遣事業」
 という東京都独自の介護サービス制度があり、その制度
 では入院中の利用も特に制限を設けず利用を認めてき
 たという実態がありました。そのため国の制度ができ
 て、原則入院中の介護サービスの利用が不可となって

も、東京都は重訪利用者の入院中の利用を全く認めないという門前払いの様なことは
しませんでした。ただ、最終判断は区市町村なので、本人や家族らが区に連絡して、
入院中の介助の必要性和東京都とのこれまでの経緯を説明して交渉し、それでも認
めてもらえなかったり、認められても1日2~3時間程度のわずかな時間だけであつ
たりしていましたが、4月からは区分6の人に限りですが、正式に使えるようになります。

ただし、問題は二つあります。一つ目は、区分4、5の人は対象外にされた事
です。上に書いたように、東京都はこれまでの
経緯があるので区分に関係無く入院中
の利用は厳密に制限していませんでした
が、今回を機に区市町村が区分6に限定し
てくる危険性があります。東京都はこれか
らも区分を限定しないとのことですので、
もし区分4、5の人が入院されて区から
重訪利用はだめと言われてもあきらめずに
交渉して行きましょう。



二つ目は、法律上はあくまでコミュニケー
ション支援や、普段の慣れたヘルパーが
看護師さん等に普段のやり方を伝授する（教える）為の利用で、吸引等の医療的ケア、
着替えや排泄介助などは利用できない事になっている事です。これは、法律上もはつ
きりと入院中も重訪を使って良いことにするには、医療法という法律を改正する必要
があるのですが、これをやるにはとてもハードルが高いため、総合支援法の見直しの
中でギリギリ表現したという、厚労省の努力の結果でもあります。つまり、本音は
入院中も普段通りの重訪サービス受けて良いが、建前としては直接的な支援（利用）
はダメ（という表現）にしているということなのです。この微妙なニュアンスを、
区市町村の担当者にもちゃんと伝わるよう、今後の厚労省の説明の在り方がとても
重要になってきます。

入院中の重訪利用を可能にすることは、JILやDPIなどを中心とした
当事者団体が長年求めてきたものです。様々な制限はあるもののようやくそれが実現
するということで、一歩前進です。なかなか一気に制度が良くなるということはありませんが、
地道に声を上げ続けると、ちゃんと耳を傾けてくれる人がいて、いろんな
条件、タイミング等が整うと、ある時スッと事が進むものですね。

連載シリーズ
すま
わ
しゅ
わ
vol.1
鈴音の手話コラシ

たなか すずね
田中 鈴音

て はな め み ことば
「手で話し、目で見える言葉」

しゅわ は えいご や フランス語 などと同じように独立した1つの言語(言葉)です。

しょうがいしゃけんりじょうやく でも「手話は言語である」と定義されています。

さらに、外国の文化と日本の文化に違いがあるように、聞こえる人と聞こえない人の文化にも違いがあります。

しゅわ には 「日本語対応手話」「日本手話」、さらに「中間型手話」

があります。日本語対応手話・・・日本語通りに手話単語をつけて話す。

日本手話・・・日本語と異なる独自の文法構造をもつ。

中間型手話・・・上記2種類の中間的と言われている。視覚的に理解しにくい

日本語対応手話の欠点を補うため日本手話の要素を取り入れて工夫したもの。

まずは、手話を言語として認めること。お互いの文化を認め合うこと。それが

手話上達への一歩になるのではないのでしょうか ☺



↑手話で「嘘」



↑手話で「本当」



↑「待つ」を全身で!

かわいいかわいいお姉さん2人に、「何か手話やってよー。」とお願いすると、いろん
な手話単語がポンポン出てきていました。さすが!!この調子でSTEP全体に手話
の楽しさを広めていこうね♪

facebook

はじめました。

フェイスブックの検索欄に
「自立生活センターSTEPえどがわ」と入力して
検索すると見つけやすいです★



ページに「いいね!」 & 「フォロー」をお願いします!



日々の活動報告や耳より情報など
最新のSTEPニュースを随時更新中!!

フェイスブックページは、スマホ、
パソコン、タブレット等で見れます。

<https://www.facebook.com/CIL.STEP.Edogawa/>

QRコードで
簡単アクセス!



かっ どう ほう にく
 活動報告

ないぶかつどう すてっぶ しゅざい さんか かつどう
 【内部活動：STEPが主催、参加した活動】
 ねん
 2017年

- 8/23 JICA・ZUKIさん来訪
- 8/28 東南アジア + 日本の大学生昼食会@ちゃとり
- 8/29 ヘルパー研修会 ロールプレイ
- 9/26 カンボジアのサミスゴ一行様来所
- 9/28 3号研修
- 10/2 3号研修
- 10/4 ヘルパー研修会 制度について
- 10/6 ADA27報告会 in 江戸川 (東部区民館)
- 10/13 STEPっこバザー
- 10/21 STEPえどがわBBQ
- 10/30 STEP勉強会 (知的障害者の自立生活支援)

がいぶかつどう そと かつどう
 【外部活動：外で活動してきたこと】
 ねん
 2017年

- 8/3 鉄道における車椅子利用環境改善会議 (土屋)
- 8/7、8 東京都初任者研修サポーター
(曾田・工藤・蛭川)
- 8/9 JDF 障害者権利条約
パラレルレポート準備会 (曾田)
- 8/21 ~ 23 重度訪問介護従事者養成研修
- 8/30 ~ 9/1 重度訪問介護従事者養成研修
- 9/5 合同企業説明会
(タワーホール船堀) (市川・土屋)
- 9/9 ADA27報告会 (曾田・工藤)
- 9/27、28 交通サポートマネージャー
(土屋・工藤)
- 9/29 成田空港 ANAバックヤード視察
(今村・工藤)
- 9/29 我孫子市布佐中学校講師 訪問 (曾田・鈴音)
- 10/5 JICA交通研修 (土屋)
- 10/13 東京都条例部会傍聴 (曾田)
- 10/15 地域活動センターはるえ野共同企画
弁護士相談会
- 10/18 STEPえどがわ会社説明会
- 11/11、12 第11期バリアフリー障害当事者
リーダー養成研修 (中曾根・工藤・土屋)
- 11/22 交通サポートマネージャー (土屋)

- 10/31 洗脳道場 外部ゲスト (渡辺琢さん J C I L)
- 11/14 ~ 16 STEP 集中ピアカン
- 11/22 ヘルパー研修会 腰痛体操 感染症について
(今村・土屋・中曽根・市川・蛭川・曾田・工藤・鈴音・高橋・布川・田中)
- 11/28 洗脳道場「障害福祉計画」
（今村・曾田・鈴音）
- 12/24 STEP クリスマスパティー
- 12/28 大掃除
- 12/2 ~ 3 D P I 政策討論集会 (戸山サンライズ)
（戸山サンライズ）
- 12/6 淑徳大学授業 (蛭川・加瀬・曾田・工藤)
- 12/18 ~ 20 J I L 全国セミナー in 博多
（今村・曾田・鈴音）

2018年

- 1/12 STEP 子供バザー
- 1/18 佐々木氏 & 折り紙先生来所
- 1/22 ~ 26 チャレンジザドリーム (瑞江三中)
- 1/22 ヘルパー研修会 金銭・貴重品の管理 取扱いについて
- 1/31 ダンサ会議
- 2/5 ~ 9 チャレンジザドリーム (春江中)
- 2/9 STEP 子供バザー
- 2/10,11 重度訪問介護従事者養成研修
- 2/17 3号研修
- 2/18 調理 I L P
- 2/19・20 3号研修
- 2/20 ヘルパー研修会 聴覚障害について
- 3/27 ヘルパー研修会 緊急時対応について

2018年

- 1/16 T I L 勉強会 (市川・井家上・曾田)
- 1/23 江戸川区相談支援研修
- 1/29 東京都相談支援専門員初任者研修
- 2/15 自立支援協議会・第5期障害者福祉計画 傍聴 (蛭川・曾田・鈴音)
- 2/15 鉄道における車椅子利用環境改善会議 (土屋)
- 2/20 南小岩第二小学校 訪問授業
- 2/23 明治学院大学茨木ゼミ研修
- 2/26 I L P リーダーズ (土屋・工藤)
- 3/6 鉄道における車椅子利用環境改善会議 (土屋)
- 3/12 N C I L 代表：ブルース、
 副代表：サラ来日の成田空港お出迎え
- 3/16 N I C L 講演 @ 東京都議会議事堂 2階
 第2会議室 (今村・土屋・中曽根・工藤)
- 3/27 鉄道における車椅子利用環境改善会議 (土屋)
- 3/25 N C I L のブルース & サラ お見送り
（今村・曾田・工藤）

かいじん ぼりゅう 会員募集

すてっぶ STEPえどがわは、すてっぶ STEPポリシーとすてっぶくんもとしょうがいしゃの自立生活に係わる様々な問題に取り組み、ひいては地域に根ざした社会貢献団体になることを目指しています。

つきましては、とうほうじん かつどうしゆし さんどう みなさま かいじん せいさんじよ 賛助) になっていただき、とも じりつせいかつ すてっぶ えどがわを ささそだ 育てて下さる仲間を募集します。

せいかいじん せいかいじん とうほうじん ていかん さだ そうかい さんか
正会員 (正会員は、当法人の定款に定めた総会に参加できます)

- とうろくりよう 5,000 えん にゆうかいじ
・登録料 5,000 円 (入会時のみ)
- かいひ 5,000 えん ねん
・会費 5,000 円/年

かいじん さんじよかいじん
サポーター会員 (賛助会員)

- こじん 1 ぐち 3,000 えん ねん くちいじょう
・個人 1 口 3,000 円/年 (1 口以上)
- だんたい ほうじん 1 ぐち 10,000 えん ねん くちいじょう
・団体・法人 1 口 10,000 円/年 (1 口以上)

かいじん とうほうじん かんこうぶつ あんない どう そうふいた
会員には、当法人の刊行物、イベント案内チラシ等を送付致します。

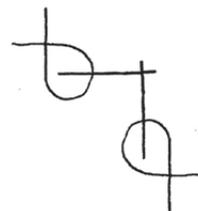
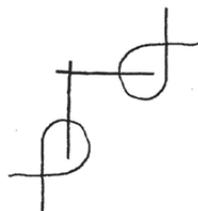
かいひのうにゆうさき
会費納入先

ゆうびんふりかえ じりつせいかつ
<郵便振替> 自立生活センターステップえどがわ No.00110-0-579238

ぎんこうこうざ とくていひえいりかつどうほうじんじりつせいかつ
<銀行口座> 特定非営利活動法人自立生活センターステップえどがわ

みつびしゆーえふじえーぎんこう みずえしてん ふつう
三菱UFJ銀行 瑞江支店 普通 0548550





編集後記

へん しゅう こう き



平成30年3月23日に江戸川区手話言語条例が可決され、成立
 しました！東京都では初の手話言語条例となります。
 STEPえどがわでも手話人口が増えてきた今日この頃。
 みなさんもぜひ、手と手でつながることの出来る手話に触れて
 みませんか。
 江戸川区から手話が広がりますように・・・。

へんしゅう
 編集 :

とうきょうとしていきたくしえんじぎょうしゃ
東京都指定居宅支援事業者
 とくていひえいり かつどうほうじん えぬぴーおーほうじん
特定非営利活動法人(NPO法人)
自立生活センターSTEPえどがわ
 じりつせいかつ すてっぶ

〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町3-9-7
 だんわ ふあつくす
 TEL 03-3676-7422 FAX 03-3676-7425
 うえぶ
 WEB <http://www.step-edogawa.com/>
 めーる
 E-mail main@step-edogawa.com

